



月一だより

中央区立 月島第一小学校
令和4年11月 NO.474

小さな社会人として

校長 荒川 比呂美

天候が心配されましたが、10月9日の運動発表会は、時折日差しが漏れる中、実施することができました。今年度は、児童は低学年・高学年に分かれ、3学年ごと競技・表現等を見合う形をとり、最高学年である6年生には、様々な係活動を通し、運動発表会の運営（準備・当日・片付け）にも関わってもらいました。また、保護者の皆様には、昨年同様、参観者数に制限を設け、学年ごとの入れ替え制とさせていただきます。御来校いただいた皆様には、子供たちを温かく見守り、たくさんの拍手をお送りいただきました。ありがとうございました。また、PTA本部役員の皆様には、運動発表会ライブ中継を、保健体育委員会、広報委員会、おやじの会の皆様には、会場での誘導・調整・整理、広報誌「つきいち」作成に向けた写真撮影、会場周りの見回り等で大変お世話になりました。皆様の御協力、御支援により開催できましたこと、心より感謝申し上げます。

子供たち一人一人が力を出し切り、自分の役割に誇りをもって、みんなを信じてつくり上げた、とっても素敵な運動発表会でした。一つの行事を通して何を学んだかは、子供たちそれぞれで違うでしょうが、きっと周りの大人が期待する以上に、今後につながる大きな成長をしていると思います。

さて、先月より6年生の本栖移動教室をはじめ、生活科や社会科で子供たちとともに、校外へ学習に出る機会が増えています。地域清掃活動も低学年の回は、実施ができました。校外での活動をする際に、繰り返し子供たちに話をしていることがあります。それは、「学校の外に一步出たら、皆さんは、月一小の代表であり、小さな社会人です。」という言葉です。校外学習は、日頃の学校生活や学習で学んだことを試したり実践したりする場になります。集団行動やグループ活動をするにあたって、自分以外の人がいることを意識し、あいさつをはじめとするマナーやルールの遵守等、お互いに気持ちよく過ごすことができるよう、「小さな社会人」として責任ある行動がとれる月一っ子であって欲しいと願っています。

11月の生活目標

仕事は協力してやりましょう。

群読発表会にむけて

文化的行事委員会

来る11月19日（土）に、学芸会にかかわる文化的行事として、本校では「群読発表会」を開催します。群読（ぐんどく）とは、「複数の人が声を合わせてその文章の世界を表現する芸術活動である」と言われています。簡単に言えば、「迫力のある朗読」といったところでしょうか。

今回は第1回ということで、私たち指導者も見通しがもてない部分もあり、現在、鋭意準備中です。題材は、詩が多いですが、教科書で学習した物語の群読に挑戦する学年もあります。学芸会とは違って、役者が舞台を縦横無尽に動き回るといったことはありません。子供たちは整然と舞台に立ち、合唱のような形の発表を聞いていただくこととなります。それぞれの学年の発達段階に合った発表を、ぜひお楽しみください。

今のところ、体育館を会場とし、学年ごとの入れ替え制を予定しています。19日（土）は5時間授業で、給食があります。21日（月）が振替休業日になります。近くなりましたら、別途、詳しい案内を配信いたしますので、ご確認ください。保護者の皆様のご来校を心よりお待ちしております。

月一園について

月一園担当

本校の敷地内には、農業体験活動が行える場所がありません。そこで、旧月島第一小学校があった現在の月島第一公園の一面を学校農園（月一園）として利用させていただいています。毎年4月には5年生がうね作り体験を行い、5月の連休明けより1～6年生の児童が夏野菜の苗植えを行います。今年はなす・キュウリ・ピーマン・ミニトマトなどでした。生活科で野菜の観察へ行ったり、理科での植物の成長の様子を観察したりと成長を見守りながら収穫の時期を迎え、収穫体験も実施することができました。9月には大根の種をまき、数か月後の収穫に向けて育てています。このような農園を維持するためには土づくりから始まり、水やり、草取りなど多くの協力者の方の支えによって農業体験が行われることに大変感謝しています。

